

総合戦略 語句解説集

■数字・アルファベット	
ALT	Assistant Language Teacher の略称。外国語を母国語とする外国語指導助手。
DMO	Destination Management／Marketing Organization の略称。官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人。
DX	Digital Transformation の略称。IT 技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良いものへと変革させるという概念。
GPS	Global Positioning System の略称。人工衛星を利用して、携帯電話の位置を割り出すシステム。本計画では、子どもの見守りを目的としてサービスに利用されている。
ICT	Information and Communication Technology の略称。情報通信技術の総称。
J クレジット	省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる、CO2 などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。
kencom（ケンコム）	健診・検診結果などの健康データなどを PC やスマートフォンで簡単に見られる健康管理アプリケーション。 久山町では町民自らが健康づくりに取り組む意識を促し、生活習慣病の予防と健康の保持・増進を図ることを目的に「kencom」を活用した健康づくり事業を平成 30 年度から開始しています。
KPI	重要目標達成指標（Key Performance Indicator）の略称。重要目標を達成する上でのプロセスを示す指標であり、その成果が得られた要因と捉えることができます。
PDCA	施策の効果を検証し、改善を行う仕組み。P l a n（計画）→D o（実行）→C h e c k（評価）→A c t（改善）の 4 段階を繰り返し行い、ある一定の成果や効率化に繋げるための手法。
SDGs	持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称で、2015 年の国連サミットにおいて採択されたもの。
SNS	Social Networking Service の略。インターネット上で共通の趣味を持つ人達との交流を目的としたサービスの総称。
Society5.0	Society1.0（狩猟社会）、2.0（農耕社会）、3.0（工業社会）、4.0（情報社会）に続く新たな社会。AI、IoT などの新たな技術により、これまでの社会の課題を解決する未来社会。
UX	User experience の略称で、利用者がサービスを通じて得られる全ての体験を意味する。
Well-being	世界保健機関（WHO）憲章前文の一節から「将来にわたり『心』と『体』そして『社会的なつながり』が満たされた状態」と定義されており、2015 年の国連総会で採択された「SDGs 持続可能な開発目標」では、「身体的、精神的、社会的福祉が保障される世界」を目指しています。

■ア行	
新たな3つの健康づくり	更に高い Well-being を目指し、町民が暮らしの中で、「国土、社会、人間」の3つの健康を実感できる機会をつくること、すなわち「3つの健康づくりの地域内循環」を戦略的に推進すること。
インフラ	日々の生活を支える道路、水道、公共施設などの社会基盤。
イノベーション	一般的には技術革新や新技術の発明を指す。ここでいう地方創生におけるイノベーションはいまある地域資源を活かして新たな価値を創造することを意味する。
ウェルビーイングスコア	職員が、身体的・精神的・社会的にどの程度満たされた状態であるかを主観的に判断し、数値化したもの。その数値が高いほど仕事への活力や職場への愛着を強く感じている状態となり、業務の効率化と質の向上が見込まれる。
オンライン化	本計画では、行政手続を効率化するために、申請書を用紙に記載することなく、コンピューター端末からタッチ入力により簡便に手続を行うことを指す。
■カ行	
カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ	本町の「持続可能な」脱炭素社会の実現をめざすスローガンで、CO2 削減のために森林や耕地を増やすだけでなく、未来にも継承していくために自然資源を暮らしの中で消費するしくみづくりを指す。
関係人口	移住した「定住人口」と観光にきた「交流人口」の中間となる、地域外の人が地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。
企業版ふるさと納税	国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し企業が寄付を行った場合に、寄付額の約6割法人関係税から税額控除する仕組み。
共感人口	町の魅力（個性）に共感する人々のこと。
グローバル	政治・経済、文化などにおいて、国家・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。
健康循環	個人の健康を管理するセルフケアが社会貢献につながり循環することで、心も体も健康な暮らしを実感する社会になること。
合計特殊出生率	15歳～49歳の女性の年齢別出生率の合計値で、出生率算定当年の年齢別出生率が以降も維持されると仮定した場合に、1人の女性が生涯に出産する平均の子どもの数を表す。
コミュニティ・スクール	保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組みや考え方を有する形態の学校のこと。
■サ行	
シェアオフィス	1つのオフィスを複数の企業や団体、個人が共同で利用するオフィスの総称。
市街化調整区域	都市計画法に基づき、都市計画区域について、計画的な市街化を図るために一定のルールに基づき建築などを制限している。計画的に市街地にしていく区域（市街化区域）と、市街化を抑える区域（市街化調整区域）の大きく2つに区分される。
自然増減	出生数から死亡数を差し引いた数値。
持続可能性	環境や社会、経済などが将来にわたって適切に維持・保全さ

	れ、発展できること。
シニアチャレンジ応援事業	高齢者の外出のきっかけづくりや心身の健康維持として、継続できる趣味づくりにもチャレンジしていただくため、イコバス無料券とチャレンジ応援クーポンを交付する事業。
社会増減	転入数から転出数を差し引いた数値。
循環型エネルギー	環境負荷の少ない再生可能エネルギー。ここでは、木材などの資源を燃料として活用するエネルギー（バイオマス）をさす。
循環型農業	畜産や農業、家庭などで出る廃棄物を肥料に利用したり、農業で出るゴミを循環利用したりすることで持続可能な農業を成り立たせる取り組み。
食育サポーター	食べることの大切さを広める食育活動を応援するボランティア。
人口置換水準	人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと。
新国富指標	GDP（国民総生産・経済状況の指標）では測ることのできない、自治体が保有する富（自然や人の健康と教育、生活に必要な設備）を数値化する新たな経済指標。
スマート農業	AI やロボット技術などを活用することで、従来の農作業にかかった労力の省力化や品質の高い農産物を管理する新しい農業の手法。
セルフケア	自分自身で自分の健康に気を付け管理すること。
■タ行	
脱炭素社会	地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を抑制するとともに、排出された二酸化炭素を数値上回収することで、数値上の吸収量と合わせて、排出量を実質ゼロにする社会のこと。
脱炭素チャレンジカップ	一般社団法人地球温暖化防止全国ネットが主催す CO2 排出量の実質ゼロを目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、優れた取組を表彰している全国大会。
地域交流型シェアオフィス「そらや」事業	地域の活性化と新たな産業の創出を図ること、さらには町内の空き家の利活用を促進することを目的に、空き家を改修し、町内で起業などを目指す方向けのシェアオフィススペースとして活用している。
テレワーク	ICT（情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。
■ナ行	
認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づいて、自主的に農業経営改善計画を作成し、市町村から認定を受けた農業者のこと。
■ハ行	
バイオマス	エネルギーや物質に再生が可能な、動植物から生まれた有機性の資源。木材、海草、生ゴミなどを指す。
ひさやまてらこや ⁺	デザイン思考で創造力（生きる力）を育む、久山町独自のプログラム。「地域の課題」を教材としたワークショップなどを通じて、実体験から地域に役立つデザインの思考方法や手段を学ぶ。
ファンド	地域における創業や事業承継、地域課題の解決に取り組む事業に対して資金を投資し支援すること。
フィールド	場所、領域。

ブラッシュアップ	磨きをかける、より良くする。
■マ行	
マッチング	異なったものを組み合わせること。
3つの健康づくりの地域内循環	町民が暮らしの中で、「国土、社会、人間」の3つの健康を実感できる機会をつくること。
■ラ行	
リモートワーク	IT技術を使い、自宅等、オフィス以外の場所で仕事をする働き方。
労働力率	15歳以上人口に占める労働力人口の割合のこと。